

和田殿と三浦

秦 孝浩

私の住んでいる三浦市内には多くの史跡名勝があり、暇に任せて散歩がてら立ち寄り往古を偲んでいます。NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」ゆかりの武将の史跡も多いことから俳句に詠み記憶を新たにしました。それらの史蹟は自宅（京急の三浦海岸駅近く）から半径3～4キロの範囲内に点在します。

（お松が池）早咲きの桜にお松偲ぶ池

（龍山寺跡）（虚無僧寺）鳥曇り虚無僧寺に無縁墓

（宮田貞明碑）東風吹いて井戸をかなたに元屋敷

（和田義盛旧里）水温む和田一門のこゑを聴く

（和田義盛城址）揚雲雀やすらふところ和田城址

（巴御前）梅の香に巴御前の勇ましく

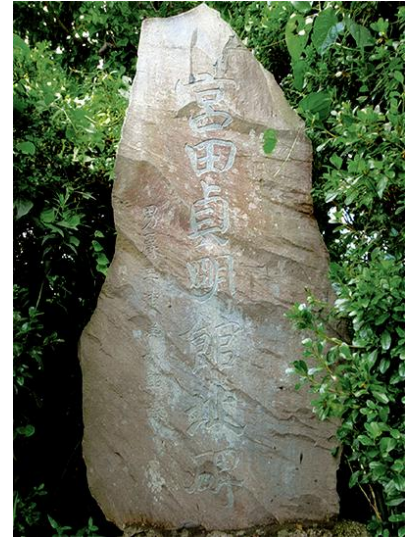
（天養院）義盛の館の鬼門や春の雷

（薬師三尊）三尊の膝やはらかくあたたかく

（和田義盛公位牌）余寒なほ法の灯ともす位牌かな

（安楽寺跡）寺子屋にあまた弟子あり踏の花

（大泉寺）石段の高さに春の大泉寺



宮田貞明館址碑

引用：横須賀・三浦タウンニュース紙



和田義盛の碑(GoogleEarth)

【人名について注記および写真は事務局にて追加】

和田義盛は、三浦一族で鎌倉殿の13人の一人。弓の名手で侍所別当（侍所のtop）。頼朝の鎌倉幕府擁立の大立者であったが、今年のNHK大河ドラマの主人公「北条義時」が鎌倉幕府執権として権力を掌中に収めていく中で、和田義盛は義時と対立して由比ガ浜での戦で討ち死にする。現在の三浦市初声町和田は和田義盛の館があった場所で、関連する史跡が残る。

宮田貞明は三浦氏一族の末裔で、三浦市初声町下宮田に館を構えていた。当時の豪族達の名字が地名と重なるのは、自分の領地を示すパスポートとして自ら名乗ったとのこと。（NHK番組「日本人のお名前」より）

巴御前は女武者で源（木曾）義仲の愛妾。のちに和田義盛の妻になったという話もある。